

## 教員養成フラッグシップ大学 ヒアリング審査

### 【追加調書】

大学名：福井大学

テーマ：「主体的・対話的で深い学び」を支える教師の実践力を培うために：

省察的実践の長期漸成サイクルをコアとする養成研修カリキュラムの実現と

学校・教育委員会・地域・大学「専門職学習コミュニティ・DX多重協働ネットワーク」の構築

概要（5行程度）：

「変革を起こす力(コンピテンシー)」(OECD)を実現する省察的実践を通じた持続的な学習展開を支える教師の力量形成のために、教師及び教師をめざす学生自身が省察的な実践を長期的発展的に進め、実践研究を深めていくことのできるカリキュラムを学部・大学院、養成と生涯にわたる研修において有機的・総合的に構築するとともに、そうしたカリキュラム・イノベーションを多くの養成大学・研修支援の機構と連携して共有していくシステム開発を進める。

構想において取り組む重点テーマ（該当するテーマの□を☑にしてください）

（教員養成フラッグシップ大学公募要領より抜粋）

- ①学習者中心の授業デザイン・学習活動デザインについての理解増進，  
ファシリテーターとしての教師の役割についての意識向上
- ②教育学や教師教育学、学習科学に基づく省察的実践（仮説設定，教育実践，省察）  
を通じて学び続ける教師としての意識・態度の育成
- ③学習者中心の視点に立った教職科目体系の見直し（教科専門を含む）
- ④教師・保護者・地域・専門家等と協働する態度や，協働できる環境を整える組織  
マネジメントの資質・能力の育成
- ⑤学校現場における教育データサイエンスの活用やSTEAM教育を先導する人材の育成
- ⑥障害のある児童生徒，外国人児童生徒，不登校，経済的に困難な家庭の児童生徒，  
特定分野に特異な才能のある児童生徒等，多様な子供への理解・対応力
- ⑦学部と教職大学院の一体的な教員養成カリキュラムの検討，現職教員研修  
（教員育成指標）との連携の在り方の検討

フラッグシップ大学の特例を用いて新規追加する科目名、単位数、対象学年、科目概要

学部/大学院	科目名	単位数	対象学年	科目概要
大学院	学校拠点・省察的実践コアサイクル	10 単位	1・2年次	学校における実習と密接に連動させ、学校が直面する課題に協働して取り組む実践とその省察を基盤に実践研究を持続的に展開し、学校での協働の実践・研究の実践力・ファシリテーション・コーディネーション・マネジメントの力量を培う。①②③④⑦
学部	Co-agency 協働学習支援プロジェクト	4 - 8 単位	1・2年次	地域の子どもたちの長期協働探究プロジェクトを支える活動を基盤に、その構想・展開・省察を通して協働の学びを支援する実践力の基礎を培う。①②③
学部	Life Partner 個別学習支援プロジェクト	4 - 8 単位	2・3年次	地域の学校に在籍する特別なニーズを持つ子どもの学びを長期的に支援する取り組みを軸に、事例カンファレンスと研究を重ね個別のニーズを踏まえた学習支援を学ぶ。⑥
学部	Subject-based Inquiry 教科探究プロジェクト群	8 - 16 単位	1-4年次	教科学習におけるコンピテンス形成のための探究的な学習を実現するカリキュラムと教育内容開発を教科専門・教科教育教職専門および大学院における実践研究の成果を総合して長期的に進める。②③
学部	STEAM 総合探究プロジェクト群	8 - 14 単位	3-4年次	分野を横断した総合的・創造的な探究を実現するための実践研究・カリキュラム開発プロジェクトを上記三つのプロジェクトを基盤に発展的に進める。⑤①②③